

FORMULA PROJECT



2013
Annual
Report

マシンコンセプト

「融合」 ~YOU GO !!~

- ・工学部と芸術文化学部が一丸となって活動するプロジェクトの体制
- ・様々な人と協力しあって最高のマシンを作りあげる。
- ・マシンとドライバーが一体となれるようなマシンを作る
- ・「You Go!!」という未来へ進むイメージとのダブルミーニング



～今年度の成果～

・第 11 回全日本学生フォーミュラ大会に参加
ようやくマシンを搬入できるようになり、
プロの方々からご指摘をいただきました。



大会前

- ・ 新入生を勧誘
- ・ 部品の製作・組み付け

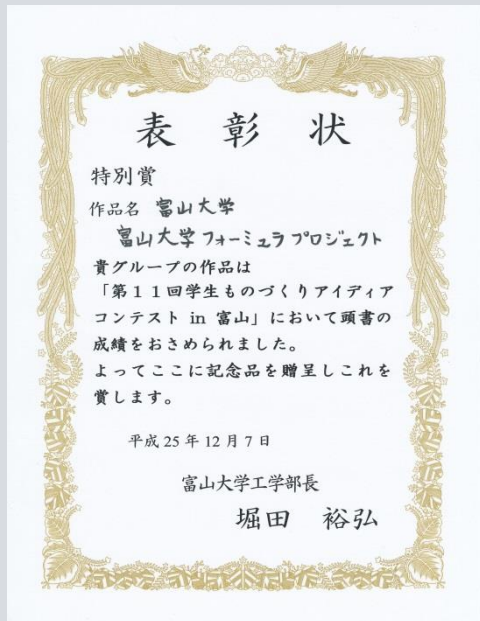
大会中

- ・ マシン初搬入
- ・ デザイン審査
- ・ 車検(フォローアップ)

大会後

- ・ ブレーキの修繕
- ・ アクセル・クラッチのワイヤーの調整

・第 11 回学生ものづくりアイデアコンテスト特別賞 (2013 年 12 月 7 日)



新潟大学フォーミュラプロジェクトチームとも意見交流ができ、とても勉強になりました。良い刺激になり、交流の輪が広がり有意義でした。



- ・ 夢大学 in 工学部 出展
- ・ 創己祭 in 芸術文化学部 出展



一般の方々の意見も聞くことができ、製作の意欲がさらに高まりました。芸術文化学部のアイデアを工学部が実現するために「何をすべきか」など話し合いました。芸術文化学部の方にも広報することができました。そこで、新メンバーの勧誘も行いました。

(2013 年 10 月 19 日 (土) ~20 日 (日))

・ HONDA 報告会参加

2014年2月21日（金）に第5回支援校報告会があり、プレゼン作成と発表をしました。報告会は発表した後にホンダの方々や他大学との質疑応答ができました。

今回は工学部のプロジェクトリーダー久間と、芸術文化学部プロジェクトリーダー野村で発表させていただきました。報告会では、日本自動車大学校など、大会でレベルの高い成績を残している大学の報告を聞くことができました。報告会を通して学べたことが多くあります。

まずは、プレゼンの仕方やプレゼンの構成の仕方です。マシンのコンセプトなどを取り入れ、いつの間にか聞き入ってしまうプレゼンでした。発表する内容に必ず裏付けがあり納得できるプレゼンをするということを学びました。裏付けのあるプレゼンを作っていくには、これからはマシンに対して裏付けができるような活動をしていかないとはいけません。

次に、リーダーとしてのマネージメントの仕方や、スケジュール管理の大切さを学びました。マシンの知識やスケジュール管理の仕方などがない状態でリーダーになりました。今回の報告会ではマシンが走行状態になっていない理由でスケジュールが引き延ばしになってしまったという報告をしました。そこでホンダの方から様々なアドバイスをいただきこれからはマシンについて学び、リーダーとしての素質、技量、風格を高めることを決意しました。

最後に、やってきたことを次の世代にしっかり受け継いでいくことの大切さです。ある大学では、先輩とのコミュニケーションのなさにより間違ったことを正しいと勘違いしてしまい、そのせいでマシンが壊れてしまったということを聞きました。これを通して私たちのチームでは、やってきたことをまとめて先輩方から受け継いだり、後輩にもしっかり受け継いでいきたいと考えています。

これからは今回の報告会で学んだことをメンバー全員に浸透させ、活動をより活発にし、チームの目標である第12回全日本大会で完走することを目指します。

来年度も皆様の叱咤激励をどうぞ宜しくお願い致します。

マシンの現状

エンジン ドライブトレイン

- ・エンジン周りの部品の組付け
- ・デフ・シャフトの組付け

サスペンション ステアリング

- ・サスとステアの組付け

フレーム

- ・ベースは完成
- ・塗装

電装

- ・ベースは完成
- ・電動ウォーターポンプ組付け

デザイン

- ・カウル原型の完成



お問い合わせ

何かご不明な点などが御座いましたらこちらまでお願いします。



〒930-8555

富山県富山市五福 3190

創造工学センター 創造工房 プロジェクトA室

HP <http://tuf.main.jp/>

E-mail アドレス

gakuseiformula@yahoo.co.jp

